

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

【概要】

日 時：令和6年7月12日（金）午後7時～午後8時30分

会 場：本館2階 応接室

参加者：（委 員）井関委員、佐藤委員、西村委員、堀田委員

（事務局）准校長、教頭、事務主査、首席、教務主任、生活科学系列長、記録

【配布資料】

- ① 学校運営協議会 次第
- ② 令和6年度 学校運営協議会 委員名簿
- ③ 学校運営協議会 実施要項
- ④ 第1回 学校運営協議会活動報告資料
- ⑤ 令和6年度学校経営計画及び学校評価
- ⑥ 令和5年度学校経営計画及び学校評価
- ⑦ 令和7年度使用教科用図書選定理由書

【内容】

1. 開会のあいさつ（准校長より）

2. 委員紹介（教頭より）

3. 報告

（1）学校行事・クラブ活動等について（首席より）

<近況報告>

・学校内近況

現在の生徒数、生徒数の推移について、年齢層について、入学者数の推移について

・体育祭の開催

台風の日、リレー、大縄、綱引き、生徒との片付け

・前期人権学習「お金の使い方」教員が演じる学習動画の上映

・防災訓練および薬物乱用防止教室

・心肺蘇生法講習会（AED講習）

・校外学習

実施時期を9月→5月へ変更 各行先の紹介

・地域連携

いちご狩り体験（各幼稚園および御舟町自治会）

朝食こども食堂（NPO法人様主催）へ本校の収穫野菜の食材提供

→NPO法人様より教科書のご恵贈、なごみカフェにお菓子のご提供

地域連携幼稚園の感謝巡り行事

<各分掌等からの報告>

・教務部

式典の規模適正化

・進路指導について

過去4年間の進路状況と就職先および卒業予定生徒の希望状況の報告

・生徒会活動

任命式、地域清掃、クリーンキャンペーンの様子

・保健部

実施行事紹介

① 防災避難訓練（バケツリレー、担架、水消火器）

〔協力〕大阪南消防組合・柏羽藤消防署様

② 第1回薬物乱用防止教室〔講師〕富田林少年サポートセンター様

③ 第2回薬物乱用防止教室〔講師〕夜回り先生 水谷 修先生

④ 性教育〔講師〕阪南中央病院・助産師様

・生徒支援委員会の活動

SSW・SCの活用状況および予定について

学習支援員・夜間介助員の活用状況について

なごみカフェ（生徒の居場所づくり）七夕行事の紹介

・人権教育推進委員会を中心に生徒向け人権学習会を実施

・PTA活動

総会およびいちご狩り体験の様子について

・部活動活動報告

軟式野球部 春季大会・準決勝敗退

バドミントン部 ベスト32

陸上競技部 全国予選・各種目優勝 →8月全国大会参加

(2) 令和6年度学校経営計画及び学校評価について（准校長より）

・令和5年度からの変更点

中期的目標

1 (2) 「地域連携等」を追記

→御舟町およびNPO法人との連携実績を踏まえて追記

3 (2) ア 「不登校生徒の学習機会確保への取組みの推進」を追記

→国の動きに係る遠隔授業の実践を見据えて追記

本年度の取組内容及び自己評価

1 (1) エ 令和5年度は目標を下回った結果となった。

今年度は目標を達成するために普通科で評価についての共有ファイルを作成し、教科を横断した学習状況の把握を行い評価方法を共有する。CAD系列では定期考査を行わず、観点別学習評価を実施するなどの取組みを行っている。

3 (2) ウ 地域との連携を継続し本校の教育活動への協力と理解を深めるを追記。また8月7日にNPO 法人様開催の朝食こども食堂への訪問予定。

(3) 令和7年度使用教科用図書選定理由書(教務主任より)

・来年度の教科書の選定理由等の説明

来年度、全学年が新カリキュラム向け教科書に移行する。

再来年度、各教科書に改訂が入ると思われるため教科書選定の見直しが必要。

4. 会長・副会長選出(首席より)

・副会長は井関委員に決定

・会長選出は事務局預かりで次回報告

5. 協議

(井関副会長より)

いちご狩りや芋掘り等、地域連携行事でお世話になりありがとうございます。地区から学校へ出来ることがあればよいのですが・・・何かお手伝いできる事があれば地区の方へ連絡ください。

また、先日の地域清掃に生徒さんが参加し溝掃除を手伝ってくれました。作業のお手伝いに住民が喜んでおり、生徒さんがそれをみてやりがいを感じて喜んでくれたのが印象的でした。

A. やりがいのある事を行える場合は教育機関としてもありがたいです。

(西村委員より)

少ない人数できめ細かく対応できているのが良い。

Q. 教員の人数は何人いますか。

A. 23名(管理職含め25名)です。

Q. 系列ごとに授業は分かれますか？

A. 分かれます。少人数での授業も多い。

(西村委員より)

集団での授業であるとしても自分を出せない生徒もいるため、このような環境で授業が行えることは理想です。1対1で対話することも大切と考えます。

Q. SC重点配置校になってよかったことは？

A. SC来校は通常年間10回程度。今年度は15回を予定。月1回は来校していただけるためケース会議等を密にできる。今年度より重点配置のため第2回第3回の協議会で結果をお示しすることが出来ると思います。

SSWは週1回で年間30回程度、学校の実情をよく理解していただいているので非常に助けられている。

また、昨年度から夜間介助員、学習支援員の配置があり、今年度も4月から7月までで67回。学習支援員等の時間数は配当されるが人材確保が大変です。

(西村委員より)

人材不足になると、どうしてもきめ細かい対応が難しくなります。しかし、人材を学校で探すことは大変な業務です。

(佐藤委員より)

なごみカフェ等いろいろな居場所づくりがあることで学校へ行きやすいと感じました。現代では学校へ行けない方もインターネットで授業を受けるなど様々な学びの方法がありますが、やはり顔を合わすことも必要だと思います。また、地域連携を通して、ご年配の方から小さい子どもまで様々な人と関わることが大切であると思います。

Q. 生徒が4年制と3年制を選択した際の違いを教えてください。

A. 通常、定時制高校は4年間の通学が一般的であるが、世間一般的に高校は3年間で卒業するという風潮に則り、3年間で卒業を希望する生徒がいます。3年制へ進んだ場合、定時制科目に加えて桃谷高校通信制科目を併修し、4年制コースより年間で多く単位を履修および修得し、3年間で卒業する事が出来ます。しかし、通信科目を受講するためレポート提出が必要となり、提出不備等があると単位を修得できないなど、厳しい側面もあります。少しずつ勉強したい等の希望がある生徒が4年制を選んでいる傾向にあります。

(堀田委員より)

現在、子どもが在籍しています。本校へ進学後、すごく楽しんで学校へ登校している様子が見受けられます。教員の距離感や生徒への寄り添い方に感謝しています。

6. 閉会のあいさつ (准校長より)